

IETFミーティングが 横浜に帰ってきます！

はじめに

インターネットの技術標準について世界中の技術者が議論を行う会合が、7年振りにパシフィコ横浜に帰ってきます！

2023年3月25日(土)～31日(金)にかけて、7年振りにIETF (Internet Engineering Task Force) 会合が日本で開催されます。普段は海外で開催されるIETFの会合ですが、日本での開催ということで、これまでに参加経験のある方だけではなく、参加したことが無いという方にとって、初めての場として良い機会になるのではないのでしょうか。

本稿では、このIETF横浜会合についてご紹介します。

○開催概要 第116回IETFミーティング

開催日程：2023年3月25日(土)～31日(金)

会場：パシフィコ横浜

神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

東急みなとみらい駅徒歩5分 JR/横浜市営地下鉄桜木町駅
徒歩12分

ホスト：WIDEプロジェクト

IETFとは

IETFは「Internet Engineering Task Force」の略で、インターネット技術の標準化を推進する任意団体です。コンピュータシステムを相互接続するため、共通の技術仕様策定を議論するグループから発展し、1986年にIAB(Internet Architecture Board)によって正式に設置されました。

IETFへの参加は企業等の代表としてではなく個人として参加することになっていて、参加者は自由にIETFの会合やメーリングリストでの議論に参加することができます。IETFにおける技術標準化の議論はワーキンググループ(WG)を単位にして推進されます。

IETFにおける技術仕様は、Internet-Draftとして提案された後、IETFに参加する技術者達によるWGでの議論を経て、最終的にはRFC(Request For Comments)として文書化、保存され、広くインターネットを通じて参照することができるようになっています。このように、技術仕様を標準化し、広く参照できるようにすることで、インターネット上でさまざまなネットワークや機器が相互に接続して通信することが実現されています。

IETFミーティングについて

IETFミーティングは、欧米の他にもアジアなどさまざまな国で、年3回開催されています。通常、北米、ヨーロッパ、アジアでそれぞれ年1回ずつ開催され、居住地域の差異による参加障壁を軽減する仕組みとなっています。日本国内での開催は、国内初開催となる2002年7月の第54回(横浜)を皮切りに、2009年11月の第76回(横浜)、2015年11月の第94

回(横浜)とこれまで3回開催されていて、今回横浜で開催される第116回が4回目となります。まさに日本居住者にとっては参加しやすいタイミングではないでしょうか。

ミーティング中は、プレナリーと呼ばれる全体会合の他、各WGごとの会合が開かれます。会合だけで議論が行われているわけではなく、IETFではメーリングリスト(ML)を使って日常的に標準化や技術に関する議論が行われているため、会合での当日の議論はMLでの議論を踏まえた上で行われることになります。

MLの過去ログはこちらで参照できます。

<https://mailarchive.ietf.org/arch/>

過去のWGごとの会合の議題はこちらで参照できます。

<https://datatracker.ietf.org/meeting/past>

IETFの歩き方

IETF 116への参加を検討されている方を対象として、Internet Society日本支部、慶應義塾大学サイバー文明研究センター、一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンターの共催で、1月24日(火)勉強会「IETFの歩き方」が開催されました。下記URLに資料と動画アーカイブが公開されています。日本語でわかりやすく説明されているので、参加を検討されている方はご覧になることをお勧めします。

IETFの歩き方

https://www.isoc.jp/activities/ietf116_howto_event/

IETFのタオ

TAO <https://www.ietf.org/tao.html>

タオは中国哲学の「道」に相当するもので、IETFにおけるタオが紹介されています。心構えのような軽いものかと思うと長文で圧倒されるかもしれませんが、会合の参加の仕方など実際的なことも含めて書かれているため長くなっています。改訂は度々行われていますが、若干古い情報もあり、たとえば言及されているJabber(チャットツールの一つ)の利用、Hum(口を閉じてうなるように音を出す行為。ハミングのハム)による合意形成は現在はありません。ざっと一読した後、会合に参加して、さらに読み直すと、書かれている内容がわかりやすくなるかと思います。

おわりに

IETF横浜会合は、IETFに参加する仲間を増やし、来日するエンジニアと情報交換する良い機会です。IETFにおける技術標準化の議論はメーリングリストを通じて参加可能ですが、直接的なフィードバックを得たり、文字にしばらない相談ごとをするには現地での参加が有益です。標準化したい提案がある方はもちろん、技術に関して意見や質問がある方でも参加して発言することに意義はあります。ぜひ参加し、インターネットの標準が生み出される様子を目の当たりにしませんか。